全国高等学校駅伝競走大会

男子第69回大会の応援報告

平成30年12月23日に、全国高等学校駅伝競走大会の男子第69回大会が京都市の西京極陸上競技場を発着するコースで開催されました。母校、秋田工業高校の陸上部が24回目の全国大会出場を果たし、師走の都大路を走り抜けました。東京秋工会からは９名が応援に駆け付けました。

【激励会】

大会前日の夕方、選手達の宿泊ホテルのロビーで行われた激励会に参加しました。有坂校長先生や関西支部の諸兄、他に関西在住の秋田県人会の皆様も集まりました。関西支部の木村支部長(35A)の司会進行で始まりました。監督の大友先生からメンバー紹介があり、キャプテン竹村拓真君(3年生)の力強い決意表明もありました。東京秋工会と東京秋工会有志等の激励金を監督さんへ渡しました。最後に全員で『フレー、フレー、秋工』と気勢をあげ、エールを送りました。

選手激励会後に祇園で校長先生と東京秋工会のメンバーとで、母校の健闘を祈念し乾杯をしました・・。

【応援当日】

西京極競技場には、全国の代表校の幟や横断幕がぎっしり。近県の高校はブラスバンドやチアリーダーが雰囲気をもりあげています。私達も秋工の旗を立て、『秋田ふるさと応援団』の横断幕を張る。関西支部と東海支部から同窓生が集まって来ました。秋田県人会の皆様も集まり、ありがたい事です。秋工の応援席も大勢になりました。私達はロードでの応援の為、男子の発走前に競技場を離れます。後援会が用意してくれたタクシーに分乗し、1区、3区、4区と応援しました。選手達の雄姿を撮ろうとカメラを構えて待って居たのですが、秋工の選手が近づいて来ると、写真を撮っている場合じゃないです。郷土と母校の栄誉を担い、必死に頑張っている選手に『秋工ガンバレー』と何度も叫んでいました。選手はあっと言う間に走り過ぎて行きます。急いでタクシーに戻り、次の場所へと移動します。３区ではキャプテン竹村拓真選手が10人抜きの頑張りを見せてくれました。

4区までの選手を声援後に競技場へ戻り、選手の帰りを待ちます。秋工のアンカーは1年生の小松兼悟選手です。競技場でのデッドヒートは激しいものでした。秋工の応援席の前で小松選手が2人をかわして先頭へ出ました。私達応援団は唯々『秋工ガンバレー、秋工ガンバレー』と声を涸らして叫びました。こんなに秋工と叫んだのは在校時以来です。

キャプテン竹村君、この後10人抜き

7区、小松君(1年生)の力走

1区	高橋 銀河	（2）
2区	安達 響生	（3）
3区	竹村 拓真	（3）
4区	鈴木 玲央	（3）
5区	柴田 宜憲	（2）
6区	中川 雄太	（1）
7区	小松 兼悟	（1）
＊	畠山 莉央	（3）
＊	鈴木 吟河	（3）
＊	高貝　瞬	（2）

秋工の記録：　28位　　2時間9分4秒

後輩達は都大路の歴史に母校秋田工業高校の名を立派に刻んで来ました。選手、指導者、後援者の皆様に感謝です。

終了後に関西支部との懇親会

東京秋工会応援参加者９名
生駒 茂(33C)、辻村 豊昭(34Ｅ)、加藤 幸夫(36M)、
小野 鐵雄(38C)、三平 俊悦(39A)、佐々木 進(40S)、
遠藤 久志(43E)、 嵯峨 良平(43E)、佐藤 勲(40Ｍ)

◆ 記事　　佐藤　勲（昭和40年機械科卒／応援団ＯＢ）

WASHIYA PROMOTION
芸能タレントのキャスティング・派遣
イベントの企画・制作・プロデュース
有限会社
ワシヤプロモーション
代表取締役 鷲谷 透（昭和56年機械科卒）
OFFICE／〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町1-7-2大宮仲町ホクシンビル5F
TEL／048-649-8993 FAX／048-647-0073
URL : http://www.washipro555.com E-mail : hibiki@washiyapro.com

地元密着の総合建設業
SATA Construction Group
彩光建設株式会社
代表取締役 下總 勉（昭和47年建築科卒）
〒330-0842 埼玉県さいたま市大宮区浅間町2-257
電話 048-647-3155 FAX 048-647-3370
E-mail tsutomu-shimofusa@saikoukensetsu.co.jp